



平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会社名 住友化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 廣瀬 博
 (コード番号 4005 東証・大証 第 1 部)
 問合せ先 経理室部長 酒井 基行
 (TEL. 03-5543-5265)

第2四半期業績予想との差異および通期業績予想の修正
 ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

平成21年5月11日に公表した平成22年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想と本日公表の同期実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、通期の連結業績予想ならびに配当予想を下記の通り修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値と実績との差異(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	730,000	△5,000	△15,000	△20,000	△12.11
第 2 四半期実績(B)	735,205	11,172	7,788	△3,485	△2.11
増減額(B-A)	5,205	16,172	22,788	16,515	
増減率(%)	0.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 21 年 3 月期第2四半期)	1,009,207	31,009	22,973	6,288	3.81

2. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,620,000	35,000	30,000	10,000	6.06
今回修正予想(B)	1,620,000	35,000	20,000	10,000	6.06
増減額(B-A)	0	0	△10,000	0	
増減率(%)	0.0	0.0	△33.3	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	1,788,223	2,114	△32,624	△59,164	△35.84

3. 差異および修正の理由

(第2四半期連結累計期間)

第2四半期連結累計期間につきましては、農業化学等で出荷が好調であったことに加え、研究費を含む販売費及び一般管理費の減少等により、前回発表時の予想を上回りました。

(通期)

営業利益につきましては、第2四半期連結累計期間は前回予想を上回ったものの、前回予想時における前提に比べ、原料価格の上昇や円高の進行など、厳しい事業環境となる見通しであることに加え、第2四半期までの発生が少なかった販売費及び一般管理費が第3四半期以降に見込まれること等から、前回予想並と見込んでおります。経常利益につきましては、第3四半期の海外の持分法適用会社での業績変動等により、前回予想に対し100億円減少する見込みですが、株式等の資産売却益の計上により、当期純利益は前回予想と同じ100億円を見込んでおります。

なお、このたび当社子会社の大日本住友製薬株式会社が子会社化したセブラコール社の業績は含んでおりません。また、子会社化に伴い発生するのれんや研究開発費等の評価算定は現在行っているところであります。これらの影響額が確定し、開示すべき事項があれば速やかに公表する予定です。

4. 平成22年3月期配当予想の修正

(1)修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	未定	未定	未定
今回修正予想	0.00	6.00	6.00
前期実績 (平成21年3月期)	6.00	3.00	9.00

(2)修正の理由

当社は、剰余金の配当につきましては、株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、各期の業績、配当性向ならびに以後の事業展開に必要な内部留保の水準等を総合的に勘案し、安定的な配当を継続することを基本としております。

当第2四半期末配当金につきましては、業績が前年同期に比べ悪化したことにより、誠に遺憾ではありますが見送らせていただきます。平成22年3月期末につきましては、通期業績の達成に努め、配当金を6円とさせていただきますと予定しております。

当該修正により、年間配当予想は1株につき6円となります。

※ 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上